

# 美濃市デマンド交通運行計画（案）

## 経緯

市では第5次総合計画の重要課題として、超高齢者社会の到来及び人口減少、また、地球環境保全の観点から地域住民の移動手段の確保及び地球温暖化防止への取り組みとして利便性が高く、効率的な地域内公共交通機関の充実を思考している中、市議会及び商工会議所から現在運行されているコミュニティバス等では地域住民の移動手段として利便性が高くなく、新たな交通としてデマンド型交通システムの導入検討の申し入れ等があった。

このため、市では内部で検討するとともに市民懇談会を開催し、市内公共交通の現状とデマンド型交通システムに対する意見を聴取した。

市民懇談会での意見をまとめると、次のとおりであった。

- 現行バス交通は便数や運行時間が不便であり、増便等を求める意見
- 公費がかかり過ぎている。費用対効果がないのではないか。
- デマンド型交通システムは利便性が高く、経済的ではないか。
- デマンド型交通システムの運行方法を示してくれなければ判断できない。
- 通学・通勤者、特に高校生の通学手段は確保しなければならない。

これらの意見を踏まえて、以下のような運行案を作成し、7月から再度市民懇談会を開催していく。また、既に関係者である関市及び岐阜乗合自動車とは協議を進めているが本運行案を示しつつ、詳細な協議を進めていく。同時に地域公共交通調査も進めていく。

## 目的

日常生活に不可欠である買物・通院・通学・通勤が快適にでき、子どもから高齢者まで全ての住民が安全で安心して移動できる交通手段を確保し、地域社会の基となる公共交通機関の整備・充実を図り、地域社会への参画を支援する。

## 利用できる人

誰でも利用可能。（市内外在住を問わない。）

## 運行範囲

美濃市内を5地区にわけ、隣接する地区間の運行を原則とする。これは、相対的に利用者のニーズが多いと考えられる市立病院、スーパーまでの区間の運行を優先的に行うことによって、運行効率の向上を図るものである。図中、緑矢印が乗客の推定トリップである。また、主要な鉄道駅及びバス停留所での都市間交通への乗り継ぎに配慮し、他公共交通機関との連携し、公共交通利用促進を図るものである。

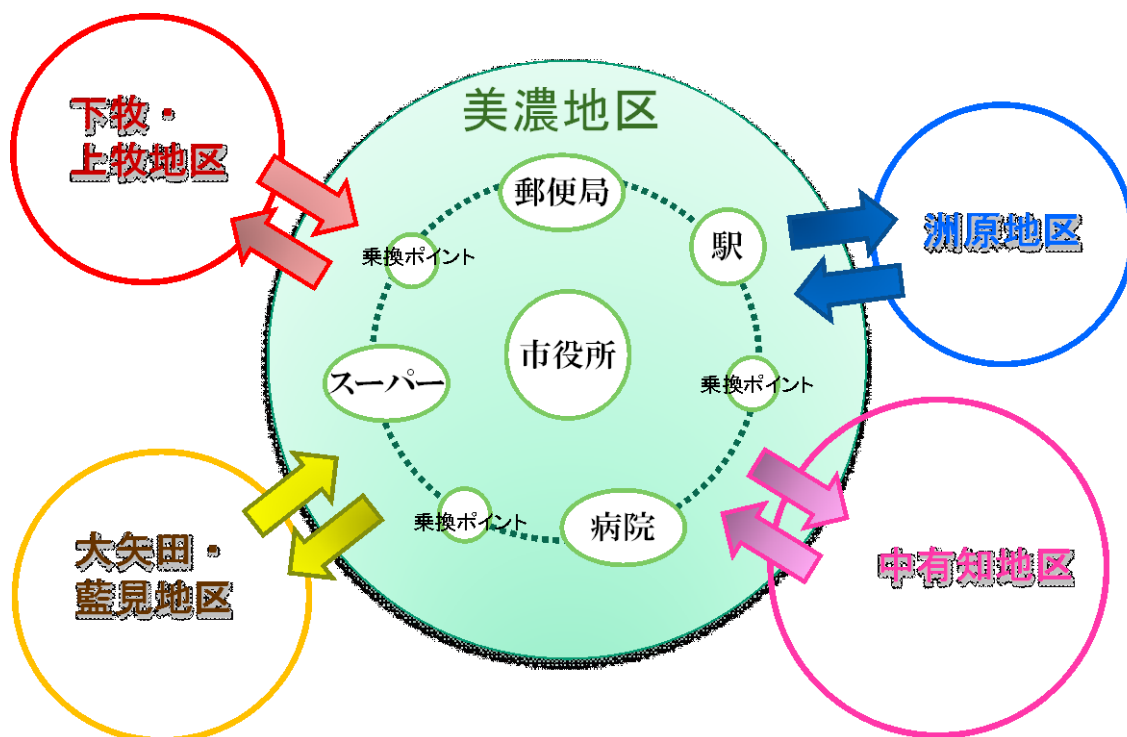
なお、原則地区間の移動は乗換ポイントで乗り換えてから他地区へ移動するものとする。これにより車両運行経路が限定され、予約成功率を高めるものである。

主な市内乗換ポイントは次のとおり。

1. 道の駅みののわか茶屋
2. 美濃病院

3. 美濃インター前
4. 美濃市駅
5. 梅山駅
6. 高速バス駐車場
7. 美濃市教育委員会
8. 美濃市役所前

地区内で乗降は可能であるが他地区へ行く場合は美濃地区(乗換ポイントを推奨)で乗り換えて他地区へ行くものとする。



## 実際の移動可能区域



## 運行開始日

平成 25 年 4 月 1 日から。

## デマンド交通乗降場所

乗降場所は既存停留所の他、地域住民及び警察との協議により増設する。

## 運行日時

毎日運行 8:00~18:00

## 運賃

有料 1 乗車 一人 300 円（未就学児無料。高校生以下及び 65 歳以上高齢者は 100 円とする割引を適用する）乗り継ぎ割引はしない。

## 予約方法

電話で予約センターに氏名、乗車人数、乗りたい乗降場所、降りたい乗降場所を伝え予約を 30 分前（朝 8 時～8 時 30 分までの出発便については前日）までに伝える。センター側ではシステムで乗客ニーズにあった車両を選定し、即予約者に乗る時間及び到着予想時間を伝え、予約者の了承で車両予約を行う。予約に要する所要時間は概ね 3 分程度と考える。バス停に乗客がない場合

は3分程度待つがそれでも来ない場合はキャンセルとみなし、次の停留所に移動する。

予約は1週間前までの分のみ受け付ける。

予約センターについてはタクシー会社と協議することとするが、合理的な既存タクシー会社の配車センターに隣接して設置することが望ましいと考える。

#### 乗合

システム上の設定により、乗合になるような配車計画をたてることが可能で、これにより合理的な配車ができる。到着までの余裕時間は概ね25分とする。

#### 時刻表

設定しない。運行間隔は30分～60分間隔とする。

#### 自主運行バス牧谷線の見直し

牧谷線は高校生の通学用として朝夕各3便定時定路線で運行とし、現行美濃市コミュニティバス「わっちも乗るCar」及び社会実験市街地循環線は廃止する。

時刻	発着地	車両台数	運行形態
	洞戸栗原 ⇄ 美濃市駅		
6:00～8:00	3便	3	定時定路線で各3便運行
16:30～18:30	3便	3	

※長良川鉄道及び都市間バス路線との接続を考慮した時刻表とする。

8:00から18:00まではデマンドタクシーが運行し、その補完をはかる。

#### 事業主体

美濃市

運行委託契約を運行業者(タクシー業者)と締結する

#### 運行主体(第4条認可)

予約管理等も含めて、事業参加に積極的である市内タクシー事業者。

市内タクシー事業者：美濃タクシー、はとタクシー

配車配分については両社の協議とする。

#### 運行車両

美濃タクシー及びはとタクシーの車両を使用する。ジャンボタクシータイプとセダン型タクシーの併用とし、マグネットステッカーなどによる表示で一般タクシーとの差別化を図る。

使用する車両は既存車両を使用することを原則とするが、今年度実施する地域公共交通調査結果に基づき、車両の購入も検討していく。

また、使用車両にはデマンドシステムに連携した端末を設備することで予約センターとの連携ができ、合理的な運行ができる。この端末は当該車両に予約センターから運行予約が入ると数十

秒おきに反映し運行経路が更新され、次の経路などの情報を運転手に提示するものである。

### 運行経費

運行時間帯毎に運行車両数を時間単位で借り上げる、「時間借上げ制」でタクシー事業者とは概ね合意を得ている。当初必要経費負担及び予約管理システム事業者は協議中。

必要経費＝車両借り上げ料＋オペレーター人件費＋システム管理費

収入＝運賃＋共同運行負担金（関市洞戸地区との共同運行に係る関市負担分）

#### 【平日：月～金曜日】

時刻	時間	運行エリア				借上げ料
		大矢田 ・藍見	中有知 ・美濃	洲原	下牧・ 上牧	
8:00～10:00	2	1台	2台	1台	2台	7,080千円
10:00～13:00	3	1台	1台	1台	1台	7,080千円
13:00～16:00	3	1台	1台	1台	1台	7,080千円
16:00～18:00	2	1台	1台	1台	1台	4,720千円
1時間2,000円で試算。1日の運行時間は10時間						<b>25,960千円</b>

#### 【休日：土・日曜日、祝日、年末年始】

時刻	時間	運行エリア				借上げ料
		大矢田 ・藍見	中有知 ・美濃	洲原	下牧・ 上牧	
8:00～10:00	2	1台	1台	1台	1台	1,136千円
10:00～13:00	3	1台	1台	1台	1台	1,704千円
13:00～16:00	3	1台	1台	1台	1台	1,704千円
16:00～18:00	2	1台		1台	1台	852千円
1時間2,000円で試算。1日の運行時間は10時間						<b>5,396千円</b>

#### 【牧谷線・関市洞戸地区乗り入れ】

時刻	時間	台数	運行経路	便数	借上げ料
6:00～8:00	2	3台	洞戸栗原車庫⇒美濃市駅	3	4,380千円
16:30～18:30	2	3台	美濃市駅⇒洞戸栗原車庫	3	4,380千円
定時定路線運行 365日運行					<b>8,760千円</b>

時刻	時間	台数	運行エリア	借上げ料
8:00～10:00	2	1台	乗り継ぎポイント⇔中濃庁舎	1,460千円
13:00～16:00	3	1台		2,190千円
デマンド方式運行 洞戸関線乗り継ぎ用 365日運行				<b>3,650千円</b>

デマンド交通に要する費用試算

内訳	金額	説明
車両借り上げ料	43,766 千円	時間 2000 円/台
オペレーター人件費	4,672 千円	8.5 時間×2 人×800 円
システム運用費	3,356 千円	通信費、プロバイダー代、システム保守料、車載機借上げ料
合計	<b>51,794 千円</b>	

収入見込み

内訳	金額	説明
運賃 (300 円、高齢者等は 100 円)	7,342 千円	平日：147 人×295 日(高齢者 70%)、 休日：32 人×70 日(高齢者 60%)
関市負担分	3,723 千円	共同運行経費を 7:3 案分
美濃市負担分	40,729 千円	
合計	<b>51,794 千円</b>	

## 美濃市デマンド交通実証運行計画（案）

### 運行範囲

美濃市内を3地区と共通エリア(乗換ポイント)にわけ、地区から共通エリア間の運行とする。地区内で乗降は可能であるが他地区へ行く場合は共通エリア(乗換ポイント)で乗り換えて他地区へ行くものとする。



### 運行期間

平成24年10月1日(目標)～平成25年3月31日

地域公共交通調査と同時に実証実験も実施し、地域公共交通計画を策定するとともに、結果も踏まえた美濃市地域内の公共交通の見直し、デマンド交通の本格運行、都市間公共交通との連携について検討します。

### 運行方法

乗降場所、運行日時、運賃、予約方法、時刻表について運行案どおり

### 実験中の自主運行バス等

牧谷線は現状どおり運行、実証実験運行エリアの美濃市コミュニティバス「わっちも乗ろCar」及び社会実験市街地循環線は休止する。